

福井豪雨から15年

2019 ^か^{そく}家族でかくにん!

わが家のぼうさい コンテスト

入賞作品集



もしものときに^{そな}え、^か^{そく}家族で^{はな}^あ話し合おう!

主催／ふくいの水防災を考える会

(福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、坂井市、永平寺町、池田町、若狭町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局

後援／福井県教育委員会

※本コンテストは、国土交通省の「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会において取り組む施策としています。

もくじ

2 入賞者一覧

3 審査委員名列

審査講評

審査委員長
福井工業高等専門学校
環境都市工学科教授 辻子 裕二氏

5 最優秀賞 作品紹介

福井市豊小学校 5年 石田 莉央さん

7 優秀賞 作品紹介

福井市豊小学校 6年 荒木 愛理さん

8 優秀賞 作品紹介

鯖江市北中山小学校 4年 飯田 愛唯さん

9 福井新聞社長賞 作品紹介

福井市豊小学校 5年 大谷 颯斗さん

10 NHK福井放送局長賞 作品紹介

福井市豊小学校 6年 林田 奏汰さん

11 入選作品の紹介

16 奨励賞作品の紹介

2019 家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧



石田 莉央さん
福井市豊小学校 5年



荒木 愛理さん
福井市豊小学校 6年

飯田 愛唯さん
鯖江市北中山小学校 4年



大谷 颯斗さん
福井市豊小学校 5年



林田 奏汰さん
福井市豊小学校 6年



田川 歌音さん
福井市豊小学校 4年

藤本 大翔さん
福井市順化小学校 3年

安藤 健楽さん
小浜市小浜小学校 5年

佐藤 良祐さん
坂井市春江西小学校 5年

村上 柚愛さん
福井市東安居小学校 6年

市村 優珠さん
鯖江市北中山小学校 5年

小玉 倭大さん
坂井市春江小学校 5年

廣瀬 龍哉さん
福井市東安居小学校 5年

山本 美帆さん
鯖江市神明小学校 5年

玉山 智琉さん
坂井市春江小学校 5年



三上 優明さん
福井市社北小学校 5年

稲崎 悠陸さん
福井市豊小学校 4年

増田 優里さん
鯖江市北中山小学校 5年

國定 栄太さん
越前市服間小学校 5年

下園 一斗さん
坂井市春江小学校 5年

林 菜々美さん
坂井市春江小学校 5年

森藤 杏菜さん
坂井市春江小学校 5年

三好 開登さん
福井市社北小学校 5年

土田 彩絢さん
福井市西藤島小学校 3年

田中 結士さん
鯖江市北中山小学校 1年

川治 璃音さん
坂井市春江小学校 5年

菅原 愛央さん
坂井市春江小学校 5年

林 晃央さん
坂井市春江小学校 5年

吉村 皇喜さん
坂井市春江小学校 5年

石橋 朱里さん
福井市豊小学校 5年

秋元 倭さん
鯖江市北中山小学校 6年

水間 壮悟さん
鯖江市立待小学校 6年

越川 日陽さん
坂井市春江小学校 5年

仲嶋 晴哉さん
坂井市春江小学校 5年

藤田 花音さん
坂井市春江小学校 5年

脇本 青波さん
坂井市春江小学校 5年

審査委員名列

審査委員長	辻子 裕二氏	福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授
審査委員	嶋田 博文氏	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所長
	礒部 英彦氏	気象庁 福井地方気象台長
	三谷 清氏	福井県土木部副部長
	吉岡 和広氏	小浜市生活安全課長
	山本 道隆氏	福井新聞社常務取締役営業統括本部長
	橋本 典明氏	NHK福井放送局長



審査講評



〈審査委員長〉 辻子 裕二氏 福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授

今年で第6回目となる「わが家のぼうさいコンテスト」の応募総数は176点でした。昨年度と比較すれば数は若干減りましたが、たくさんのお応募をいただくことができました。応募されました児童の皆さんおよびそのご家族、ご指導にあたられた方々、さらにはマップづくりに際し調査に協力いただいた関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

この度のコンテストの入賞総数は36点であり、入賞率は約20%となります。限られた条件の中で防災情報を整理し、地域を調査した上で課題を見出し、家族で解決策を練り、家族の約束事や決意を示した力強い作品が多く見られました。昨年度に発生した7月豪雨や大阪北部地震、胆振東部地震等を目の当たりにし、「明日はわが身だ。福井で起きたらどうしよう」との動機付けから解決策を見い出そうとされたご家族もあったのではないかと想像します。

さて、東日本大震災以降、国土強靱化の影響もあり、日本全体で防災リーダーの養成や学校での防災教育等、防災を学ぶ機会が増えてきました。これらの効果もあり、日本全体で“防災知識”が格段に向上したものと捉えています。一方、“防災知識”が適切な“防災行動”に結びついているか振り返るとき、ただならぬ不安を感じる人も少なからず存在するのではないかと察します。お察しのとおり、残念ながら、“防災知識”が向上した分だ

け避難率が向上しているとはいえない状況にあるのが現実です。

避難すべきときに“避難する人”と“避難しない人”の特徴を分析した報告があります。この報告によれば、“避難する人”は自ら災害情報を求め、情報を取りに行く（PULL型）人が多いようです。つまり、垂れ流す（PUSH型）情報は市民全体に伝わりやすい面もありますが、必ずしも“防災行動”に結びつかないことになります。この情報の取り方の観点から当コンテストを振り返ってみましょう。当コンテストの応募者は、自ら情報を集め、自ら課題を見出し、自ら調査し、自ら解決策をひねり出しています。与えられるのを待つのではなく、自ら動く能動型防災姿勢と言えます。したがって、今回作品づくりに関係した家族は、“防災知識”を得るにとどまらず、そもそも“防災行動”に結びつきやすい資質を備えていることになります。残念ながら今回入賞を逃したご家族も含め、実際の災害の際には慌てずに自身をもって“防災行動”に結び付けていただきたいと思います。

その上でお願いがあります。防災で重要なことは、時間軸の“連続性（継続性）”と空間的な“広がり”です。応募者の皆さんが家族の状態に合わせて毎年マップを更新する“継続性”を持たれるとともに、今回経験した内容を地域等に還元し“広がり”も担保いただくことを期待し、講評といたします。

2019 家族でかくにん！

わが家のぼうさいコンテスト

入賞作品集



表彰式で辻子審査委員長（左）から賞状を受け取る、最優秀賞の石田莉央さん
＝11月4日、福井市の福井新聞社・風の森ホール



作品で工夫した点など、インタビューを受ける受賞者



表彰式会場の入賞作品展



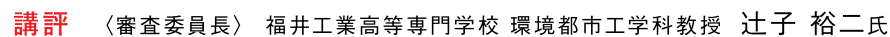
表彰式後に実施した「目からウロコの防災講座」



福井地方気象台の実験コーナー



防災マップ作りで分かったことを災害が起こった時に活かせるように心がけたいです。

[illegible]



福井市豊小学校 6年
荒木 愛理さん

講評 〈審査委員長〉

例年、コンテストの講評で「防災マップは、毎年更新した方が良い」と伝えてきました。子供の成長を含めた家族の状況は毎年少しずつ変化し、同じハザードでも対応が異なる可能性があるからです。この作品の応募者は、昨年度に本コンテストで優秀賞を得た内容を更に洗練させ、Part2として見事に仕上げています。構図や色使いが情報を伝えやすく工夫されており、年中家庭内で見て学ぶことができる楽しさを与えてくれる作品です。



受賞者コメント



日本や世界中で、色々な災害が起きているというニュースをよく見ます。自分が災害にあった時に少しでも備えることができるように、地震について調べました。祖父から福井でも71年前に大きな地震が起きて、苦労したことを聞きました。家がつぶれてすき間からはいでてきたそうです。私の家の周りでも、ブロック塀が倒れてきそうな所や、土砂崩れが起きそうな危険な場所が分かり、地図に書きました。

防災マップを作る上で工夫した点は、学校で行われた防災訓練に参加して、学んだことを分かりやすく書いたことです。手をけがした時にスーパーのふくろを三角巾のかわりにしたり、倒れている人を発見したら、心臓マッサージをしたりすることなどを消防隊の方から学びました。

もし、豊地区で災害が起きたら、防災マップ作りで学んだことを活かし、みんなと協力しながら一人でも多くの人を助けたいです。



鯖江市北中山小学校 4年
飯田 愛唯さん

講評 〈審査委員長〉

ダンボールで簡易トイレを実際に作成した内容が紹介されています。作る前までは、「(ダンボールが)つぶれないか心配だった」ようですが、「安定してすわれた」ことを確認できたようです。不安があれば行動して確認してみる。そこに安心を生み出すヒントが隠れていたわけです。トイレ以外にも、マスクやスリッパ、ダンボールベッドの作り方が示されており、安心に結びつく必要な情報が多く盛り込まれた作品に仕上がっています。



受賞者コメント



わたしが、防災マップを書こうと思ったのは、地区の消防訓練に参加して、災がいにきょうみをもったからです。工夫した点は、防災訓練で体験した事や聞いた事をマップにまとめたことです。ふだんは、ふかふかなベッドでねたり、トイレは水が流れることがふつうだけど、ひさいしたら、ベッドはかないし、トイレの水も流せないの、不便だと思いました。

起しん車でしん度7のゆれを体験しました。ゆれがはげしくて、体がういたりつくえにぶつかったりしました。急に地しんが起きたらと考えると、とてもこわくなりました。

最近、台風や地しん、大雨などの自然災がいがふえています。ニュースでひがいを見るたびに、大変だなあと悲しくなります。わたしは、大丈夫と思わずに、さいがいのそなえをしっかりとしていきたいと思います。



福井市豊小学校 5年
大谷 颯斗さん

講評〈審査委員長〉
想定される家族の個々の状態を細かく示した上で課題を洗い出し、解決策を練る過程が描かれています。とくに、家族で決めた“備え”に特徴が見られます。“備え”のレベルを0次、1次、2次に分け、避難所に持参する“1次の備え”の確認を行っています。“0次の備え”の欄では、「いつどこで被災するかわからない災いへの安心感を持ち歩こう」との決意を示し、防災は日頃の備えの積み重ねであることを強調する、示唆に富んだ作品と言えます。



受賞者コメント



学校で福井豪雨の話を聞き、ぼくの家も水につかるのかとても不安になり、父に当時のようすについて話を聞きました。浸水しなかったけど、自宅が土砂災害危険区域に入っていることを聞き、対策をとらなくてはいけないと思ったので、防災マップを作ってみようと思いました。

わが家の防災マップを作成する前はただただ不安だったけど、作成してみて地域の持ちょうを理解し対策をとった事で、少し安心することができました。そして家族がバラバラにならないために、いつ、どこに、どのように避難するかよく話し合い、共通理解しておくことが大切だと思いました。何より命を守るには、危険を感じたら早めに避難することが一番大切だと思いました。



福井市豊小学校 6年
林田 奏汰さん

講評〈審査委員長〉
Q&A形式で豊富な情報を的確にまとめ、分かりやすく表現している作品です。“情報”をキーワードとして定め、その多様性にも着目し、丁寧に整理されています。情報を“待つ”人は避難しない傾向があるとの報告がある中、この作品は情報を“取りに行く”ことを支援する仕掛けが組み込まれている点が評価できます。柔らかいタッチで描くことによって、恐怖感をあおりがちになりやすいハザードマップを、見る側が受け入れやすいように仕上げられています。



受賞者コメント



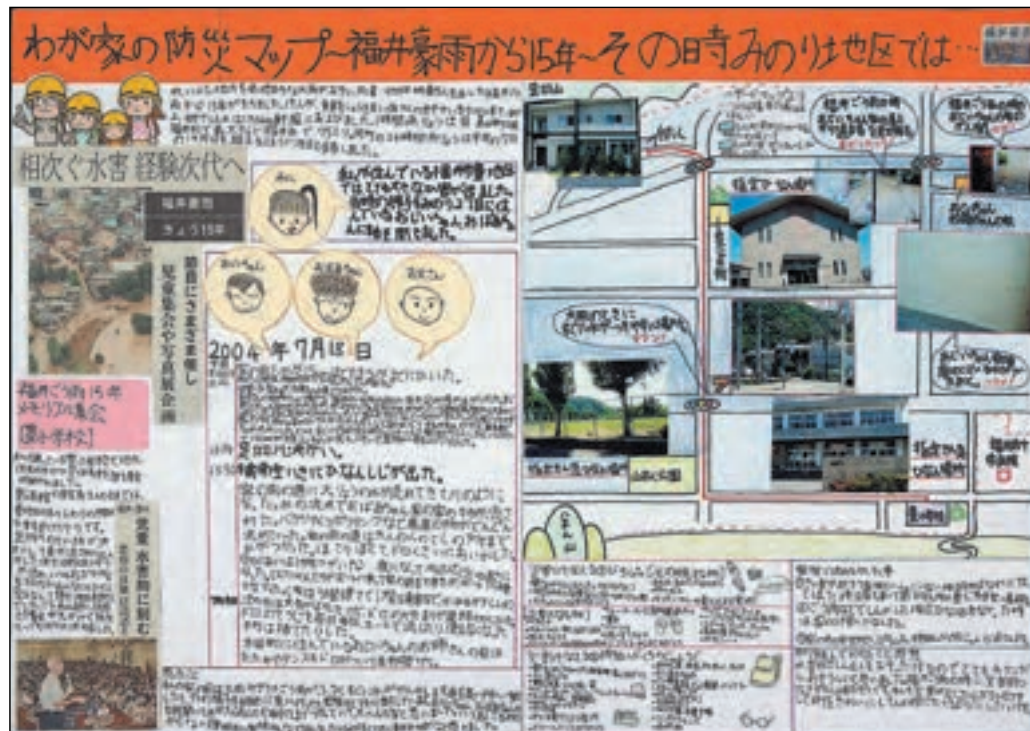
防災マップを作ろうと思ったきっかけは、7月にみのり公民館長の平田さんが、みのり小学校に福井豪雨について話をしに来てくださったことです。館長さんの話と映像から、予想以上に被害が大きくてびっくりしました。そして、その当時のことをもっと知りたかったのと、公民館がかなり被害を受けているのになぜびなん所なのかという疑問を解決するために、直接インタビューをしに行きました。

福井豪雨以降、雨水貯留管ができたりローカルな情報も手に入りやすくなって、被災地に住んでいるぼくたちとしてはとても安心できると感じました。ぼくは、防災マップ作りを通して、これからも家族や近所の人と防災について話をし、災害に備えていきたいと思いました。



福井市豊小学校 4年

田川 歌音さん



講評 (審査委員)

福井豪雨の体験を地域の人や家族から聞いて、被災の状況を時間経過や浸水時の写真を使ってよくまとめています。自宅から避難場所までの地図に浸水区域や危険箇所を記入し、災害に備えた準備物、避難時の家族との約束事などが分かりやすくまとめられています。



福井市東安居小学校 5年

廣瀬 龍哉さん



講評 (審査委員)

過去の災害を調べ、川に囲まれた自分の住む地域のことを考えた作品です。避難経路の危険箇所を調査し、写真も交え分かりやすくまとめました。防災グッズの準備や祖父母宅も加えた避難時のルール、防災訓練への参加など、家族でよく話し合っています。



福井市東安居小学校 6年

村上 柚愛さん



講評 (審査委員)

たくさんのことに取り組み、多くを学んだことが伝わる意欲的な作品です。その成果がわかりやすく配置され、すぐに行動できるマップになっています。お隣のご家族に「事前に依頼」されていることにも感銘しました。経験がきっと活かされることでしょう。



福井市順化小学校 3年

藤本 大翔さん



講評 (審査委員)

丁寧な調査で自分が住む地域にお年寄りが多いことを発見し、彼らが災害時に直面する「困った」を想定したユニークな作品です。低学年ならではの発見と共感が、地図の上で「災害の際の地域の弱い部分」として表現されていることに新鮮な驚きを感じました。



鯖江市北中山小学校 5年
市村 優珠さん

講評 (審査委員)

福井豪雨で被災された隣町の人への取材から、水害を自分ごととして考え、家族で話し合ってまとめられた作品です。大きな地図や危険なポイント、避難経路などが分かりやすく記載されています。家族の誕生日に、準備しておく物を確認することを決めています。



小浜市小浜小学校 5年
安藤 健楽さん

講評 (審査委員)

災害時の準備物や避難場所を1つの冊子にまとめた作品です。自宅にある非常用の持ち出し品を点検し不足分を購入するなど、備えに対する意識の高さがうかがえます。折りたたんで冊子に閉じ込んだ防災マップに、今後どんな情報加わるのかも楽しみです。



鯖江市神明小学校 5年
山本 美帆さん

講評 (審査委員)

自分の住んでいる街を歩いて、避難に関する看板(ピクトグラム)に着目しながら、避難所や危険箇所などを写真も交えて調べている良い作品です。「家族それぞれの得意なこと」「災害時に役立つ能力」など、独自の視点でまとめているのも面白いと思います。



坂井市春江小学校 5年
小玉 倖大さん

講評 (審査委員)

家族紹介や決めたこと、インタビュー、地区の特徴を記したマップから、ご家族や地域を大切にする気持ちが伝わります。また「地域の人たちと助け合うことの大切さを学んだ」とありますが、とても重要なことです。ぜひ、地域を担う人に成長してください。





坂井市春江小学校 5年
玉山 智琉さん



講評（審査委員）
「わが家の防災計画」として、家族みんなが考えて行動するために、家族で話し合って作られた作品です。自宅周辺の一時避難所とそのルートを確認してまとめ、鳴鹿大堰資料館を訪問して習った「マイタイムライン」を分かりやすく作り上げています。



福井市社北小学校 5年
三上 優明さん



福井市社北小学校 5年
三好 開登さん



福井市豊小学校 5年
石橋 朱里さん



福井市豊小学校 4年
稲崎 悠陸さん



坂井市春江西小学校 5年
佐藤 良祐さん



講評（審査委員）
赤ちゃんがいる家族構成を踏まえた上で、地震時の行動や対策について話し合うなど、よく考えられている作品です。共助の視点から「地域の人と仲良くする」対策のことや「警戒レベル」を自分の行動に置き換えている点も素晴らしいです。



福井市西藤島小学校 3年
土田 彩絢さん



鯖江市北中山小学校 6年
秋元 倖さん



鯖江市北中山小学校 5年
増田 優里さん



鯖江市北中山小学校 1年
田中 結土さん





鯖江市立待小学校 6年
水間 壮悟さん



越前市服間小学校 5年
國定 栄太さん



坂井市春江小学校 5年
林 晃央さん



坂井市春江小学校 5年
藤田 花音さん



坂井市春江小学校 5年
川治 璃音さん



坂井市春江小学校 5年
越川 日陽さん



坂井市春江小学校 5年
森藤 杏菜さん



坂井市春江小学校 5年
吉村 皇喜さん



坂井市春江小学校 5年
下園 一斗さん



坂井市春江小学校 5年
菅原 愛央さん



坂井市春江小学校 5年
脇本 青波さん



坂井市春江小学校 5年
仲嶋 晴哉さん



坂井市春江小学校 5年
林 菜々美さん



主催／ふくいの水防災を考える会
（国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、坂井市、永平寺町、池田町、若狭町）
共催／福井新聞社 NHK福井放送局
後援／福井県教育委員会

令和元年12月発行

防災出前授業やってます！

国土交通省福井河川国道事務所 ☎0776-35-2661
福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会は、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作り、ご希望の方に配布しています。

また、国土交通省や福井県では小学校へ出向いての防災出前講座を行っていますので、ご希望があればご相談ください。